

「サロン・土・カフェ W」開催報告

Meeting Report of “Salon” 土 “Cafe W”

熊野直子 (くまの なおこ)
日本大学 理工学部

田中真弓 (たなか まゆみ)
鹿島建設株式会社 技術研究所

1. はじめに

7月に北九州国際会議場にて行われた「第49回地盤工学研究発表会」の初日に、男女共同参画およびダイバーシティに関する委員会は「サロン・土・カフェ W」を開催した。これは数少ない女性会員の横のつながりを深める事、また性別を問わずダイバーシティに関心のある様々な世代間の交流を図る事を目的とした催しで、2011年を皮切りに、今年は4回目の開催となった。

2. 開催状況

今回のサロン・土・カフェ W は雨の中にも拘わらず、参加人数は38人と過去最多となった。参加者の内訳は男性8人、女性30人で、うち九州で活躍する女性の比率が多く、地域人材に支えられたカフェとなった。

始めに簡単な自己紹介を行い、その後は自由なおしゃべりの場とした。その際、5~6人ずつが1つのテーブルに座り、15分間フリートークを楽しんだ後に、一斉に席替えを行うという事を3回繰り返した。これは、ワールドカフェ方式といって席替えを行う事により、より多くの方々との交流を持っていただく事を意図している。また、本年度は全てのテーブルでの意見を共有できるよう、全フリートーク終了後にテーブルオーナーを担当した委員が、参加者から出た意見を総括・発表した。

フリートークの中で、同じ技術職に女性が少ないため、社内に相談する相手が少ない現状について、話題が上がった。そんな中、カフェの参加者アンケートによれば「色々な立場、会社の方のお話が聞けてとても楽しかった」「なかなか触れ合えない方々とお話できてとても楽しかった」という感想をいただいた。本催しがよい交

流の場を提供できたことを励みに、これからもカフェを根気強く長く続け、人の輪を広げていきたいと思う。一方で、若年層の参加が僅かであることに対してご指摘をいただき、課題を残すかたちになった。特に、例年通り女子学生の参加が少ない事が残念である。要因としては、学校内では学生自身が男女間の格差を感じられず、就職後の昇進・結婚・出産・育児・介護などを具体的に想像できないためだと考える。しかし、本サロンは文字通りお茶会なので、話題はダイバーシティに関係ないことでも大歓迎である。今後、学生を中心とした若年層に周知することで、より活気のあるカフェにしたいと思う。

3. おわりに

サロン・土・カフェ W も4回目を無事に終える事ができた。毎年の開催により参加者も年々増加傾向にある。サロン・土・カフェ W の魅力の一つは、性別や世代・職種を問わず、会話を楽しみ、会員同士のつながりを深められる事である。「最初は何を話していいかわからなかったが、慣れたら楽しめた」と言う意見をいただいております。また参加を躊躇しておられる方には、ぜひ次回から参加していただきたい。

なお、今回のサロン・土・カフェ W の開催に際しては、九州工業大学の廣岡明彦先生をはじめ大会実行委員会の皆様に多大なご尽力を頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。また、当日、美味しいお菓子を差し入れて下さった皆様、ありがとうございました。

来年北海道大会でお会いできる事を楽しみにしています。

(原稿受理 2014.8.21)



写真一 集合写真



写真二 カフェの様子